

## Ⅱ 図説の見方と特徴

1 種類のプランクトンについて、図説は各 1 ページで、種の同定に必要な情報のほか、その種の漁業への影響や発生海域、発生時期などの情報を掲載しています。また、トピック的な写真や情報、類似種の情報などを追加掲載している場合もあります。DVD に動画が収録されている種については、「動画」マークが付記されています。

### 1. 学名のカタカナ読み(分類群:グループ)

植物プランクトンは、和名がない種がほとんどであるため、学名のカタカナ読みが和名的に使われています。ただし、ラテン語からなる学名のカタカナ読みは個人によって異なることがあるため、ここでのカタカナ読みは一例と考えてください。プランクトン名を学術的に用いる場合やプランクトンの情報を検索する際には、世界共通の生物名であるラテン語表記の学名を用いてください。

### 2. 学名

学術的に用いられる世界共通の生物名で、ラテン語で表記されます。

### 4. イメージ写真

通常の倍率で見た時のイメージ写真(低倍率の写真)と、低倍率でもわかる泳ぎ方などの特徴を掲載しています。

### 5. 拡大写真

より詳しく観察して、種を同定するために必要な拡大写真と、同定の決め手となる特徴などを掲載しています。

### 8. 解説1

①大きさ、②形態、③動き、④その他(分類上の情報、生態的な特徴)などの解説です。

### 9. 解説2

①漁業への影響、②漁業被害、③発生海域、④発生時期などの解説です。

### 3. 動画

マークがあるものは、DVDで動画がご覧いただけます。

### 6. トピック

赤潮や漁業被害の写真、その種の特徴的な生態を示す写真、最近の研究で得られた最新の情報などを掲載しています。

### 7. 類似種

種を同定する際に、良く似ていて紛らわしい種の写真と、判別の決め手となる特徴を掲載しています。

**ゴニオラクス ポリグラマ(渦鞭毛藻)**  
(*Gonyaulax polygramma*) ▶ 動画



**大きさ** 長さ35~66μm、幅26~56μm

**形態** 色は濃い茶褐色。細胞の前端は尖り、後端は丸い。後端には、数本の短い鞭があり、翼片(よぐへん)によって魚のヒレ状につながっている。横溝の段差は、幅の約1.5倍。殻は薄く、表面の縦目線と縦方向に走る横線(リょうせん)が特徴的である。類似種のゴニオラクス スピノーフェラ(*Gonyaulax spinifera*)とは、横溝の段差、後端の鞭、殻の表面構造などで区別できる。

**動き** 回転しながら、活発に泳ぐ。

**その他** 夜間は刺激によって青白い光を発する

**漁業への影響**：赤潮は高酸化、広域化する傾向があり、伊勢湾~熊野灘にかけて大規模な赤潮を形成することがある。赤潮になると、貧酸素化を引き起こして、魚介類を大量へい死させる代表的な種である。

**漁業被害**：平成19年に伊勢湾、的矢湾、美濃湾、五ヶ所湾などで赤潮が発生。的矢湾では貧酸素化によって養蚕中のマアジ(15,000尾)、アコヤガイ、ヒオウギなどがへい死する被害が発生した。

**発生海域**：伊勢湾~熊野灘沿岸 **発生時期**：8~10月頃(夏季~秋季)